

URGCCマトリクス

【学士教育プログラム学習教育目標とURGCC学習教育目標との対応関係表】

政治・国際関係学学士教育プログラム

	URGCC学習教育目標	自律性	社会性	地域・国際性	コミュニケーション・スキル	情報リテラシー	問題解決力	専門性	
		自分自身が掲げる目標の達成に向けて、自律的に学習し行動することができる。	市民として社会の規範やルールを理解し、倫理性を身に付け、多様な人々と協調・協働して行動できる。	地域の歴史と自然に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に貢献することができる。	言語とシンボルを用いてコミュニケーションを行い、自分の考えや意思を明確に表現することができる。	幅広い分野の情報や知識を多様なチャンネルから収集し、適切に理解した上で取捨選択し、活用することができる。	批判的・論理的に思考するとともに、これまでに獲得した知識や経験等を総合して問題を解決することができる。	専攻する学問分野における思考法、スキル、知識等を体系的に身に付け、活用することができる。	
学士教育プログラム学習教育目標	政治・国際関係学を中心とする基礎的・応用的専門知識	○	○	○			○	○	
	(URGCC学習目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 政治・国際関係学という学問領域は、地域・国際性と密接に関連しており、また、問題解決を問うものである。また、これら専門的な知識を身に付けることによって、自律性・社会性も要求される。								
	政治・国際関係学を含む社会科学の分野に関する資料収集・文献調査能力	○	○	○			○	○	○
	(URGCC学習目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 政治・国際関係学を中心とした社会科学分野における資料収集・文献調査は、必然的に地域・国際性、社会性を涵養するものであり、専門的な情報収集とは、単なる情報リテラシーにとどまらず、専門性及び自律性、問題解決力を必要とするものであるから。								
	社会の諸現象に対して問いを立て、知識・調査と論理的思考に基づいて解決を見出す能力	○	○	○			○	○	○
(URGCC学習目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 問題解決には、専門的知識や情報リテラシーが必須であり、政治・国際関係学における問題解決とは、地域・国際性、社会性と必然的につながっており、また自律的な姿勢を要求するものであるから。									
現代社会の諸問題に対処するため必要とされるプレゼンテーション・討論・文章作成の能力	○	○	○	○	○	○	○	○	
(URGCC学習目標と関連があるとして、○印を付けた理由) 政治・国際関係学におけるプレゼンテーションや討論・文章作成は、専門性や情報リテラシーの習得が前提であり、学問的に地域・国際性、社会性は必然である。また学習者の自主性や問題解決力を問う学習内容であるから。									
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)									
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)									
(URGCC学習教育目標と関連があるとして、○印を付けた理由)									